学校番号	１０１２

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ファッション造形基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・全体指導と個別指導を並行して実習を行います。
・基本の縫い方修得のために運針の練習を行います。手縫いで作業をすることが多いので、集中力を要します。
・定期的に補講を行います。遅れている場合は放課後に残って仕上げましょう。

2　学習の到達目標

・基本の縫い方を習得し、作業法を思考、工夫し合理的に能率的に行うことができる。
・縫い方の技術を身につけ、作品を完成させる。
・被服の成り立ち、作品作りに興味を持って学習に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服のなりたちや各部の名称を理解し、基礎的・基本的な縫い方を身につけている。 正しい縫い方を身につけ、進度に遅れずに進めることができている。	仕上がりの状態を意識した上で作業し、縫う、裁つなどの作業を行うことができる。	被服のなりたちに関心を持ち、意欲的に実習に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	製作の基礎	○全体説明 ○運針練習 ○基本の縫い方の練習 ○巾着づくり ○ぬいぐるみづくり	a: 正しく裁断や縫うことができ、進度に遅れずに進めることができたか。道具の名称や使い方を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。自分のイメージを作品に取り入れることができているか。 c:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。	進度 縫い方 正確さ	プリント、課題、制作作品	プリント、課題、記録、授業に取り組む姿勢
2学期	衣服の構成・洋服の製作	○基本の縫い方 ○小物作品づくり① ○小物作品づくり② ○パンツの製作	a: 正しく裁断や縫うことができ、進度に遅れずに進めることができたか。道具の名称や使い方を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。自分のイメージを作品に取り入れることができているか。 c:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。	進度 縫い方 正確さ	プリント、課題、制作作品	プリント、課題、記録、授業に取り組む姿勢
3学期	衣服の構成・洋服の製作	○基本の縫い方 ○立体・平面構成衣服 ○衣服作品の製作 ○着装の工夫	a: 正しく裁断や縫うことができ、進度に遅れずに進めることができたか。道具の名称や使い方を理解し、正しい縫い方を身に付けることができたか。 b: 仕上がりを意識しながら作業を進めることができたか。自分のイメージを作品に取り入れることができているか。 c:一つ一つの作業に意欲的に取り組むことができたか。	進度 縫い方 正確さ	プリント、課題、制作作品	プリント、課題、記録、授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度